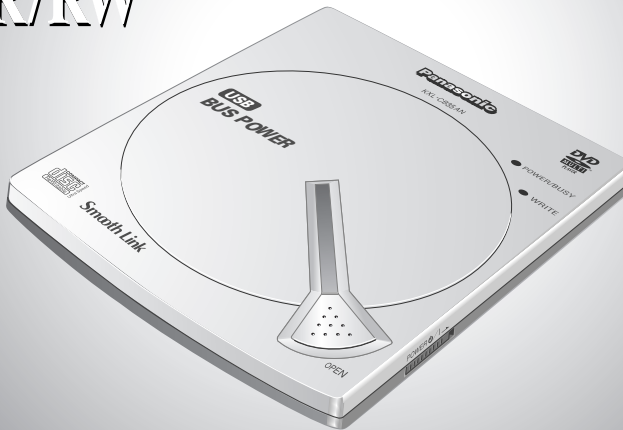
Panasonic

ポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブ

取扱説明書

品番 **KXL-CB35AN**

保証書別添付

このたびは、パナソニック ポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 取扱説明書、セットアップガイドと保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

お使いいただくまえに

本機をパソコンで正しくご使用いただくためには、以下の確認・操作を行う必要があります。

正しくお使いいただくために（本書）	本機を正しくお使いいただくための説明 はじめによくお読みください ●ご使用 OS の確認 ●パソコンに USB ドライバーをインストールする ●パソコンに UDF リーダーをインストールする ●パソコンと本機を接続する ●セットアップを確認する

（CD-ROM、DVD-ROM ドライブとしてご使用いただけます）

DVD ビデオ再生ソフト	●WinDVD をインストールする （使用方法についてはクイックガイドをよくお読みください。）

（DVD ビデオをご覧いただけます）

書き込みソフト	●B's Recorder GOLD BASIC/B's CLiP をインストールする （使用方法についてはクイックガイドをよくお読みください。）

（CD-R/CD-RW に書き込みができます）

- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- 本書の記載内容は予告なしに変更される場合があります。

本機の特長

■ AC アダプター・USB バスパワーの 2 電源対応*1

■ USB バスパワーを供給する2種類のケーブル（専用 USB ケーブル／コンバインケーブル*2）を付属

■ AC アダプターでは、書き込み・読み込み 最大 24 倍速対応*3
USB バスパワーでは、書き込み 8 倍速、読み込み 最大 20 倍速対応

■ USB2.0 インターフェース対応*4

■ DVD-RAM・DVD-R/-RW の再生に対応*5

■ 書き込みソフト・ DVD ビデオ再生ソフトを付属*6

*1 パソコン本体の USB バス電源供給性能により、USB バスパワーでの動作ができない場合があります。
PCI ボード・PCMCIA カードをご使用の場合は、USB バスパワーでの動作ができない場合があります。
他の USB 機器と併用される場合は AC アダプターでご使用ください。

*2 コンバインケーブルを使用するには、パソコンの USB ポートが 2 つ必要です。

*3 CD-RW では書き込み最大 16 倍速となります。
Ultra Speed CD-RW（US CD-RW）のメディアによっては、16 倍速の書き込みができない場合があります。

*4 USB ハブ経由での接続は、動作保証していません。
安定した動作でご使用いただくためには、USB2.0 接続でご使用ください。

*5 DVD-RAM はカートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジがないメディアで UDF フォーマットのものに限ります。
DVD-R は 4.7 GB/1.4 GB（for General）、DVD-RW は 4.7 GB の Ver.1.1に対応したメディアの再生に対応しています。

*6 USB 1.1 で使用される場合、書き込みおよび読み込み速度は最大 8 倍速相当となります。
また、DVD ビデオの再生は映像や音声が途切れることがあります。
付属の B's CLiP は CD-R の書き込みには対応しておりません。

Windows 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（以下 Windows 2000）
Windows Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。（以下 Windows Me）
Windows XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemです。（以下 Windows XP）

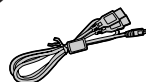
付属品のご確認

ご使用いただくまえに、次のものがそろっているか確認してください。
万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店まで
ご連絡ください。

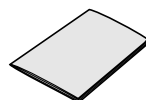
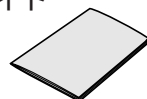
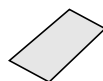
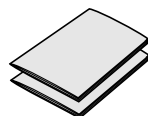
□AC アダプター（中国製）
（KX-WZ712）

□専用 USB ケーブル
（フィリピン製）

□電源コード
（タイ製）

□コンバインケーブル
（中国製）

□CD-ROM
- B's Recorder GOLD BASIC
- B's CLiP
- WinDVD
- ドライバーソフト

ケースにシリアル番号付

□取扱説明書

□セットアップガイド

□保証書

□B's Recorder GOLD BASIC / B's CLiP クイックガイド
□WinDVD クイックガイド

イラストは現物と一部異なる場合があります。
（付属品の内容は予告なく変更される場合があります。）

付属品を開封前に、必ず「エンドユーザーライセンス契約書」（☞ 78～79ページ）を
お読みください。

もくじ

はじめに

準　備

使　う

必要なとき

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

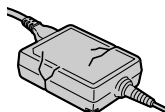
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コード・ACアダプターについて

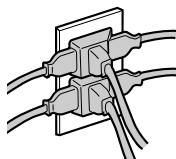
電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、布などをかぶせたりしない）

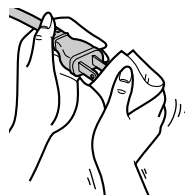
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

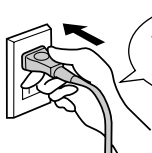
⚠ 警告

電源コード・AC アダプターについて

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

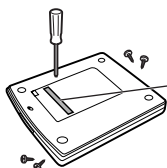
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

⚠ 警告

ご使用について

絶対に本機を分解したり、修理・改造しない

分解禁止

クラス1レーザ製品

本機は、クラス1レーザ製品です。
レーザ光線による視力障害の原因になることがあります。

● 内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。

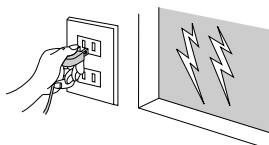
ひび割れや補修したディスクは使用しない

禁　止

ディスクが割れてけがの原因になります。

雷について

雷が鳴りだしたら、電源プラグ、AC アダプターや本機の金属部に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

もし異常が起こったら

異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

・本体が破損した
・本体内に異物が入った
・煙が出ている・異臭がする
・異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

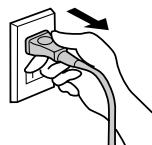
⚠ 注意

ご使用について

電源プラグを接続したまま移動しない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コードはプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

AC アダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※ の原因になることがあります。

※ 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

ディスクの回転中に本機を移動・振動させない

ディスクが外れて、ディスクを傷つける原因になります。

正しくお使いいただくために

使用場所について

■**夏季の閉め切った自動車内や長時間直射日光の当たるところ、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください**
変形・変色または故障の原因になることがあります。

ご使用について

■**専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブル以外は使用しないでください**
本機やパソコンの故障の原因になることがあります。

■**水や湿気、湯気、ほこり、油煙の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）で使用しないでください**
故障の原因になることがあります。

■**本機やディスクを結露した状態で使用しないでください**
寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になることがあります。
- ディスクを取り出し約１時間放置したのち、ご使用ください。

■**本機に磁石など磁気をもつものを近づけないでください**
磁気の影響を受けて、動作が不安定になることがあります。

■**本機内部に金属物を入れないでください**
故障の原因になります。

■**レンズに触れないでください**
音とびしたり、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■**隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは**
- **2 m 以上離してください**
- **同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください**

AC アダプターについて

■**付属の AC アダプター・KX-WZ712 をご使用ください**
他の AC アダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

高調波ガイドライン適合品

コピーコントロール CD について

■本機は、CD 規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準じていない「コピーコントロール CD」などについては、動作や音質の保証は致しかねます。
■CD 規格に準じた CD の再生や読み出しに支障がなく、上記のような特殊ディスクで支障が出る場合は、ディスクやパッケージ、印刷物などをよくお確かめのうえ、ディスクの発売元へお問い合わせください。

書き込みについて

■本製品の使用や故障により生じたデータの損失ならびに直接的、間接的な損害につきましては、当社は一切の保証をいたしません。あらかじめご了承ください。
■重要なデータに関しては、万一に備えて元データと照合（ファイルコンペア等）を追加した状態で書き込みやバックアップ（複製）を行ってください。

著作権について

■本機を利用して音楽用 CD 等の各種ディスク、インターネット上の画像や情報等著作権の対象となっている著作物を、複製または編集することについては、著作権法上、個人または家庭内など限られた範囲内での使用（以下「私的使用」と言います）のみ許容されます。
■利用者が著作権をお持ちでない著作物を権利者に無断で複製、編集することは著作権法で禁じられています。また、著作物によっては、その使用許諾条件で複製が制限されたり、禁じられている場合がありますので、「私的使用」を目的とする場合でも使用許諾条件の内容に従ってください。

DVD ビデオレコーダーで録画したディスクに関するお知らせ

- DVD ビデオレコーダーで録画された DVD-RAM ディスクの再生には UDF2.0 形式に対応した UDF リーダーが必要です。
  Windows XP 以外は付属の UDF リーダーをインストールしてください。
  （Windows XP ではインストールは不要です。）
- DVD ビデオレコーダーで録画された DVD-R の再生には、録画に使用した DVD ビデオレコーダーでファイナライズする必要があります。

使用できるディスクについて

本機では、次のディスクが使用できます。

読み込み対応ディスク		読み書き対応ディスク
DVD-Video*1	Video CD*3	CD-R
DVD-RAM*2	CD-EXTRA	
DVD-R	CD-DA	CD-RW
DVD-RW	CD TEXT*3	
DVD-ROM	CD-ROM	
Photo CD*4	CD-ROM XA	

ディスクの状態（記録品質、傷、汚れ、変形、コピープロテクションなど）によっては正常に読み込めない場合があります。

*1 再生可能な DVD-Video は、再生可能地域コード（リージョンコード）2（2 を含むもの）または ALL の表示があるものです。他の地域コードのものは、リージョンコードの設定変更が必要です。設定変更は 4 回までです。 4 回目以降の変更はできません。（☞ 45ページ）

*2 DVD-RAM ディスクの再生は、カートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジがないメディアで、UDF フォーマットのものに限ります。（☞ 13ページ）

*3 付属ソフトを使用することにより、再生が可能です。

*4 使用時には市販の専用ソフトが別途必要です。

ディスクの取り扱いについて

ディスクは、正しい取り扱いをしないとデータの記録や再生が正常に行われず、データが損なわれたり、ドライブが故障する、などの障害が発生する場合があります。本書および、ご使用のディスクの取扱説明書をよくお読みのうえご使用ください。

ディスクの取り扱い

■ディスクを長時間直射日光の当たる場所や高温の場所、湿度の高い場所に放置しないでください
ディスクが変形し、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクの信号記録面に触れないでください

ディスクが汚れると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■乾いた布などでディスク表面を強くこすらないでください
ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクの指定の場所以外に文字を書いたり、ラベルを貼らないでください

ディスクが傷つくと、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

- 文字などを書く場合は、フェルトペンなどペン先の軟らかいものをご使用ください。

■ディスクを薬品や洗剤で拭かないでください
ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクを投げたり、曲げたりしないでください
ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

DVD-RAM ディスクについて

DVD-RAM ディスクは、「記録できる DVD」として、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。

DVD-RAM ディスクには、以下のタイプがあります。

- **TYPE1**…カートリッジからのディスクの取り出しはできません。
- **TYPE2**…片面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **TYPE4**…両面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **カートリッジなし**

本機でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。本機では再生のみ対応しています。

TYPE2、TYPE4 の DVD-RAM ディスクについて

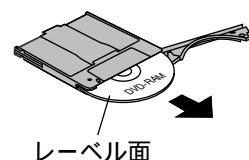
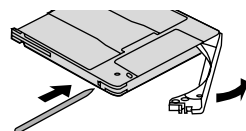
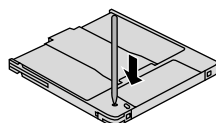
ディスクを取り出すには

カートリッジからのディスクの取り出しは、以下の手順で行います。
〔イラストは松下電器産業（株）製 12 cm DVD-RAM ディスクで説明しています。
他社のディスクをご使用の場合は、ディスクの取扱説明書をご覧ください。〕

TYPE2 カートリッジからディスクを取り出すときは

1　カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って、取り除く

2　カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、細いもので押さえ、開閉ふたを開ける

3　表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出す

ディスクを収納するときは

- カートリッジのデザイン面とディスクのレーベル面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- 開閉ふたを閉じた後にライトプロテクトの設定を確認してください。

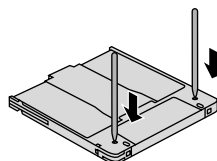
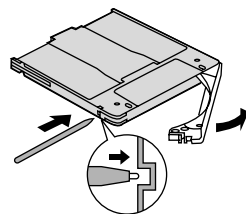
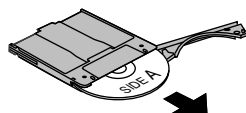
取り扱い上のお願い

ディスクの取り扱い（☞13ページ）と下記内容にお気をつけください。

- 開閉ふたを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。
  ディスクを取り出したあとのカートリッジには DVD-RAM 以外のディスクを入れて使用しないでください。
- ディスクが汚れた場合は、別売の専用クリーナー※でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナーなどは使用しないでください。
- 取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

※ ディスククリーナーは LF-K200DCJ1 をご使用ください。

TYPE4 カートリッジからディスクを取り出すときは

1 カートリッジのロックピン（2ヵ所）を、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って、取り除く

2 カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、細いもので押さえ、開閉ふたを開ける

3 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出す

ディスクを収納するときは

- カートリッジの A 面とディスクの A 面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- 開閉ふたを閉じた後にライトプロテクトの設定を確認してください。

取り扱い上のお願い

ディスクの取り扱い（☞13ページ）と下記内容にお気をつけください。

- 開閉ふたを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。
  ディスクを取り出したあとのカートリッジには DVD-RAM 以外のディスクを入れて使用しないでください。
- ディスクが汚れた場合は、別売の専用クリーナー※でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナーなどは使用しないでください。
- 取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

※ ディスククリーナーは LF-K200DCJ1 をご使用ください。

各部のなまえとはたらき

前面／天面／右側面

ディスクカバー
(☞ 37ページ)

(☞ 37ページ)

POWER/BUSY 表示ランプ

緑色点灯	本機の電源が入っているとき
緑色点滅	AC 電源でデータを読み込んでいるとき
オレンジ色点滅	USB バスパワーでデータを読み込んでいるとき

WRITE 表示ランプ

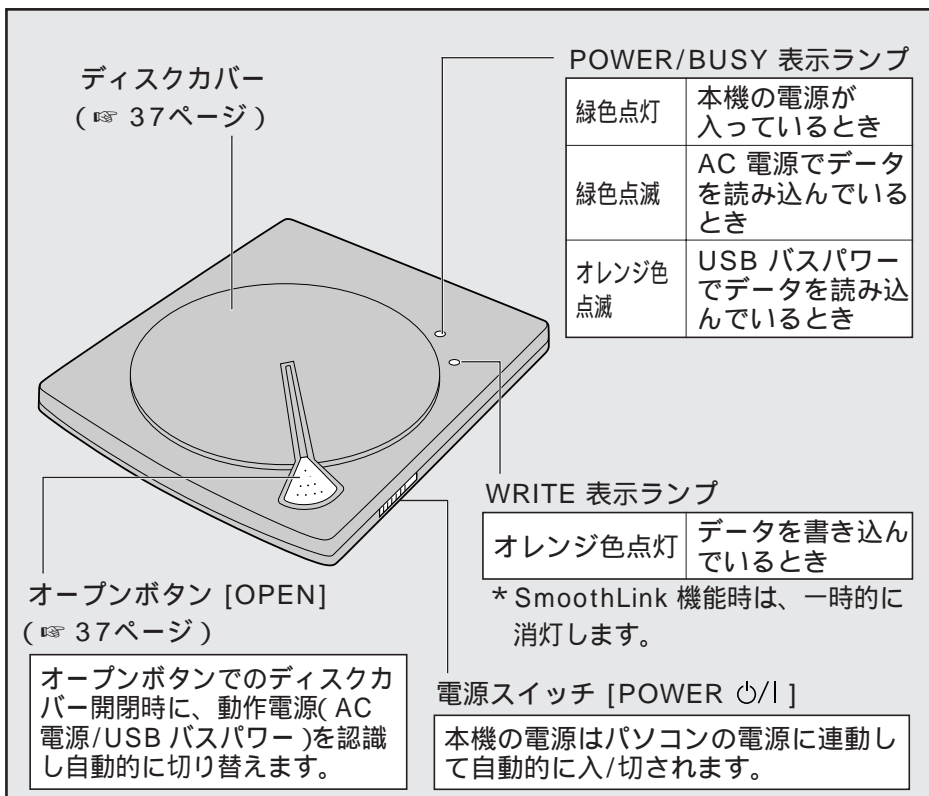
オレンジ色点灯	データを書き込んでいるとき

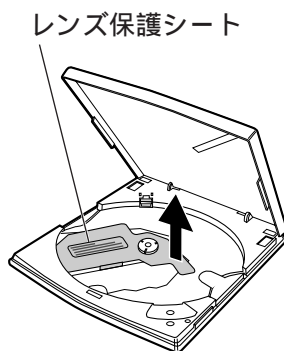
＊SmoothLink 機能時は、一時的に消灯します。

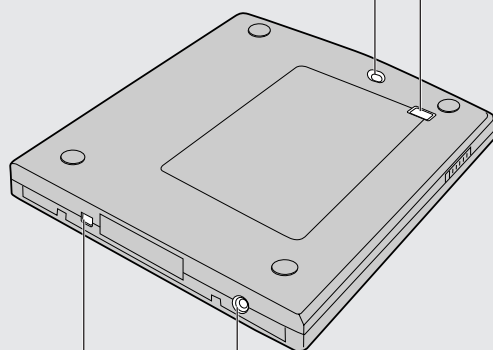
オープンボタン [OPEN]
(☞ 37ページ)

オープンボタンでのディスクカバー開閉時に、動作電源(AC電源/USB バスパワー)を認識し自動的に切り替えます。

電源スイッチ [POWER ⏻/I]

本機の電源はパソコンの電源に連動して自動的に入/切されます。

お願い

- ご使用いただく前に、必ず本機のレンズ保護シートを取り外してください。
- ディスクカバーを開くには、39ページをご参照ください。

裏面／背面

強制オープンレバー
(☞ 39ページ)
モードスイッチ
初期設定：
1 2 3 4
ON
OFF
モードスイッチは
すべて「OFF」で
ご使用ください。
DC 入力端子
[DC IN 6 V]
USB コネクター [I/F]
(☞ 31ページ)

システムの必要条件

対応 パソコン*1	● DOS/V パソコン
対応 OS	● Windows® XP（日本語） ● Windows Me（日本語） ● Windows 2000（日本語）

■映像系アプリケーション（ビデオ再生ソフト）使用時

CPU	Pentium® Ⅱ 400 MHz 以上 （Pentium® Ⅲ 700 MHz 相当以上を推奨）
メモリー	64 MB 以上(128 MB 以上を推奨) （Windows XP では128 MB 以上）
ハードディスク空き容量*2	20 MB 以上
グラフィック環境	24 ビット解像度、SVGA 表示、 Direct X 対応（Direct X 8.1 以降）

■データ系アプリケーション（書き込みソフト）使用時

CPU	Pentium® Ⅲ 以降
メモリー	64 MB 以上（128 MB 以上を推奨）
ハードディスク空き容量*2	100 MB 以上 (800 MB 以上を推奨)
グラフィック環境	800×600 ドット以上、16 ビット色以上、 Direct X 対応（Direct X 9 以降）

*1 USB ポートを搭載した機種に限ります。
USB2.0 でお使いいただくには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。パソコンが USB2.0 に対応していない場合、本機は USB1.1 接続ドライブとして動作します。

*2 安定した書き込みを行うには、連続した領域を確保してください。

セットアップする

本機付属のソフトウェア

本製品には、以下のソフトウェアが付属されています。（付属の CD-ROM に収録）
ドライバーソフトは本機を使用するのに必要なソフトです、必ずインストールしてください。

ドライバーソフト

はじめにインストールしてください。

1. USB ドライバー

本機を USB で使用するための、Windows Me 専用デバイスドライバーです。
Windows Me の場合、最初に USB ドライバーのインストールが必要です。

- 付属の CD-ROM からインストールしてください。

お知らせ

- Windows Me では OS 標準の USB ドライバーでも動作可能ですが、不具合が発生する場合がありますので、付属の USB ドライバーのご使用をお奨めします。

2. UDF リーダー

UDF 2.0 形式でフォーマットされた DVD-RAM ディスクの読み込みを行うためのドライバーソフトです。（DVD ビデオレコーダーで録画された DVD-RAM ディスクは UDF 2.0 形式が使用されています。）
Windows XP 以外の OS ではインストールが必要です。

- 付属の CD-ROM からインストールしてください。

お知らせ

- UDF リーダーは USB ドライバーと同時にインストールできます。

アプリケーション

アプリケーションは必要に応じてインストールしてください。（☞ 42ページ）

1. ビデオ再生ソフト ………………… WinDVD

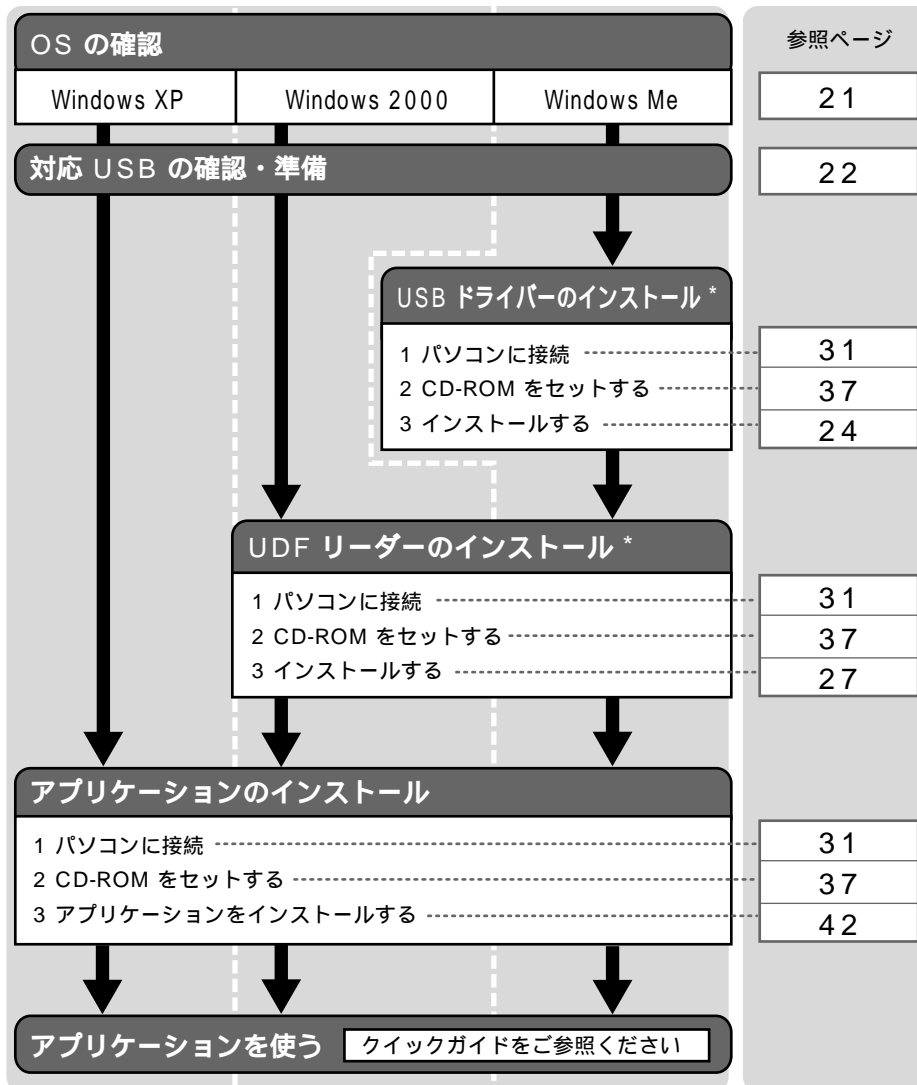
2. CD-R/CD-RW 書き込みソフト

- **ライティングソフト ………… B's Recorder GOLD BASIC**
- **パケット記録ソフト ………… B's CLiP**

起動ディスク作成ツール

必要に応じてご使用ください。（☞ 52ページ）

本機をご使用いただくための手順とながれ

お願い
- セットアップや付属アプリケーションのインストールは、AC 電源でご使用ください。

* USB ドライバーと UDF リーダーは同時にインストールできます。

操作方法の表現は、特に OS 表記がない場合、Windows XP の表現に合わせています。OS が異なる場合は、ご使用の OS 表現に読み替えてください。

Windows のバージョンを確認する

ご使用パソコンの Windows のバージョンを確認します。

Windows XP

タスクバーから スタート をクリックし、「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」をクリックすると、「システムのプロパティ」画面が表示されます。

Windows XP 以外

画面の「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックすると、「システムのプロパティ」画面が表示されます。

「システム」に、「Microsoft Windows XP」または「Microsoft Windows 2000」もしくは「Microsoft Windows Me」の表示があることを確認してください。

OS およびバージョンの表示

※ Service Pack 対応済 OS の場合は、内容が追加表示されています。
（Windows XP では Service Pack1 が追加されます。）

お知らせ

- 本機は、Windows 95 や Windows 98、Windows 98SE、Windows NT® には対応していません。

ご使用パソコンの対応 USB を確認する

パソコンの USB ポートで使用する場合、パソコンが USB2.0 に対応していないと、本機は USB1.1 接続ドライブとして動作します。
パソコンが USB2.0 に対応していない場合、市販の USB2.0 インターフェースカードが必要です。
USB のタイプは、ご使用のパソコンの取扱説明書などでお確かめください。

■ USB1.1 で使用する

Windows Me をご使用の場合は、本機付属の USB ドライバーが必要です。
「USB ドライバーをインストールする」(☞24ページ) へお進みください。
※ Windows Me 以外は、USB ドライバーのインストールは不要です。

Windows XP / Windows 2000 では

USB ドライバーのインストールは不要です

OS 付属の標準 USB ドライバーで動作します。

「UDF リーダーのインストール」(☞ 27ページ) へお進みください

Windows Me では

OS 標準の USB ドライバーでも動作可能ですが、不具合が発生する場合がありますので、付属の USB ドライバーのご使用をお奨めします。

本機付属の USB ドライバーを使用します

ドライバーをインストールしてください。

「USB ドライバーをインストールする」(☞ 24ページ) へお進みください

お知らせ

USB1.1 インターフェース環境で接続された場合

- 書き込みおよび読み込み速度は、最大 8 倍速相当となります。
- DVD-Video 再生のときも、こま落ちやブロックノイズが発生することがあります。

DVD-Video の再生は USB2.0 でのご使用を推奨します。

■ USB2.0 で使用する

USB2.0 対応パソコンの場合

● Windows XP でご使用の場合

本機付属のドライバーは不要です。（Windows XP でService Pack1未対応の場合は、Windows Update を適用してください。）
「セットアップを確認する」(☞ 29ページ) へお進みください。

● Windows 2000 でご使用の場合

Microsoft の Windows Update で Sevice Pack4 を適用した後で「UDF リーダーをインストールする」(☞ 27ページ) へお進みください。

USB2.0 未対応パソコンの場合

はじめに市販の USB2.0 インターフェースカードをパソコンに接続し、ご使用の OS に合わせて USB ドライバーをインストールしてください。
（ご使用カードの最新情報をホームページなどでご確認ください。）

● Windows XP でご使用の場合

USB ドライバーは Microsoft の Windows Update より提供されていますので Service Pack1 を適用してください。

↓

● Windows 2000 でご使用の場合

USB ドライバーは Microsoft の Windows Update より提供されていますので Service Pack4 を適用してください。
インターフェースカードに付属の場合もありますので、カードの取扱説明書や各社ホームページで最新情報をご確認ください。

↓

「UDF リーダーをインストールする」(☞ 27ページ) へお進みください

● Windows Me でご使用の場合

インターフェースカードに付属の USB ドライバーをインストールしてください。
本機付属の USB ドライバーも使用します。

↓

「USB ドライバーをインストールする」(☞ 24ページ) へお進みください

USBドライバーをインストールする

本機付属の USB ドライバーは、Windows Me 専用です（Windows Me 以外ではインストールは不要です）。

お願い
- パソコンは、セットアップ作業中に電源が切れないように AC 電源でご使用ください。

1 パソコンに本機を接続する

「AC 電源で使用する」（☞ 31ページ）をご参照ください。

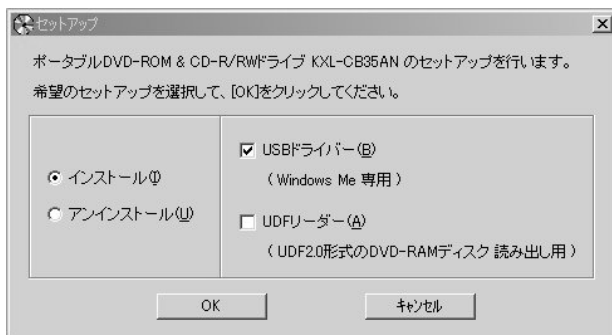
2 付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動しセットアップメニューが表示されます。

お知らせ
- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の「Asmenu.exe 」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

3 CB35 ドライバー をクリックする

CB35 ドライバー

4　セットアップ画面が表示されますので、「USB ドライバー」チェックボックスにチェックを付け、「インストール」を選択し OK をクリックする

5　インストール終了の画面が表示されたら OK をクリックします

続けてソフトをインストールできます。
終了する場合は 終了（X） をクリックしてください。

お知らせ

- USB ドライバーと UDF リーダーは同時にインストールすることができます。
  USB ドライバー、UDF リーダー の両方を選択してください。
  同時にインストールした場合は、インストール後にパソコンの再起動が必要です。

■ USB ドライバーをアンインストールするには

24 ページ以降の手順で進め、手順 4 のセットアップの画面で「USB ドライバー」チェックボックスにチェックを付け、「アンインストール」を選択し OK をクリックしてください。

準備

UDF 2.0 形式の DVD-RAM ディスクを使用するには

UDF2.0 形式でフォーマットされた DVD-RAM ディスクを読み込むためには、対応した UDF リーダーが必要です。
本機付属の CD-ROM からインストールしてください。
DVD-RAM はカートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジのないメディアで UDF フォーマットされたものに限ります。

■ UDF2.0形式の DVD-RAM ディスクを使用する

DVD-RAM ディスクを使用しない場合は、「セットアップを確認する」(☞ 29ページ) へお進みください。

Windows XP では

OS 標準のものを使用しますので、UDF リーダーのインストールは不要です

↓

「セットアップを確認する」(☞ 29ページ) へお進みください

Windows 2000 / Windows Me では

本機付属の UDF リーダーを使用します

↓

「UDF リーダーをインストールする」(☞ 27ページ) へお進みください

UDF リーダーをインストールする

本機付属の UDF リーダーは、Windows Me / Windows 2000 用です。
Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限(Administrator)のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

お願い
- パソコンは、セットアップ作業中に電源が切れないように AC 電源でご使用ください。

1 パソコンに本機を接続する

「AC 電源で使用する」(☞ 31ページ) をご参照ください。

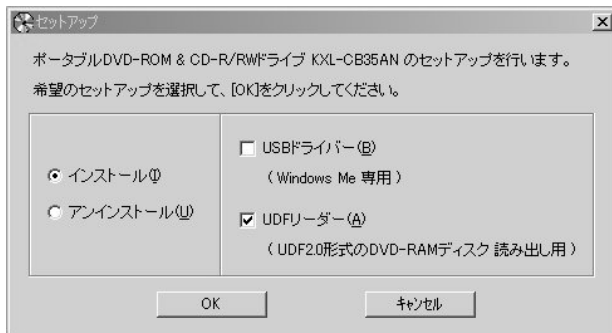
2 付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動しセットアップメニューが表示されます。

お知らせ
- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の「Asmenu.exe 」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

3 CB35 ドライバー をクリックする

CB35 ドライバー

4 セットアップ画面が表示されますので、「UDF リーダー」のチェックボックスにチェックを付け、「インストール」を選択して OK をクリックする

5 インストール終了の画面が表示されたら OK をクリックします

画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。

お知らせ

- UDF リーダーをインストールした後で、UDF リーダーを有効にするには、パソコンの再起動が必要です。

■ **UDF リーダーをアンインストールするには**

27 ページ以降の手順で進め、手順 4 のセットアップの画面で「UDF リーダー」チェックボックスにチェックを付け、「アンインストール」を選択し OK をクリックしてください。

セットアップを確認する

1　パソコンと本機を接続する

「AC 電源で使用する」(☞ 31ページ) をご参照ください。

2　本機にディスクを入れずに「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする

お知らせ

- ドライブアイコン （Windows XP）、 （Windows XP以外）の表示が追加されていれば、本機を使用することができます。
- 正常に表示されない場合、「表示」メニューの「最新の情報に更新」を選択してください。
- ドライブアイコンが追加されていない場合には、「故障かな!？と思ったら」(☞ 57ページ) をご参照ください。

ヘルプファイルを見るには

付属の CD-ROM からヘルプファイルをご覧いただけます。

1 付属の CD-ROM を本機にセットする

セットアップメニュー（起動画面）が表示されます。

CB35 マニュアル

2 CB35 マニュアル をクリックする

3 CB35 ヘルプファイル をクリックする

ヘルプファイルをインストールし、表示されます。

お知らせ

- Windows XP / Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

2度目以降は、以下の手順でもご覧いただけます。

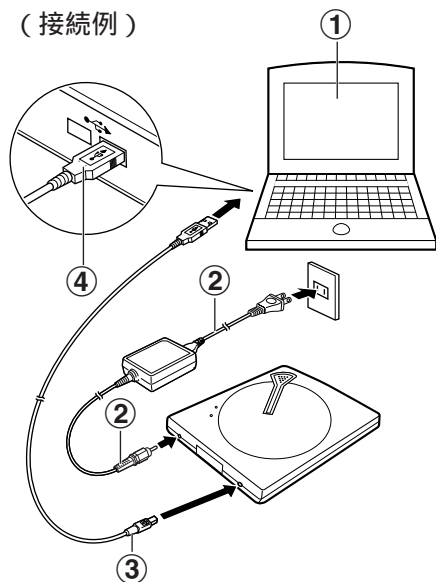
1 画面の スタート をクリックし「すべてのプログラム」をクリックして「Panasonic ポータブルドライブ」をポイントし、「CB 35 ヘルプ」をクリックする

準備

パソコンに接続する

AC 電源で使用する

接続は確実に行ってください。

（接続例）

① パソコンを起動する

② AC アダプターに電源コードを接続し、本機に接続する

③ 専用 USB ケーブルのプラグ（小さい方）を、本機の USB コネクターに差し込む

④ 専用 USB ケーブルのプラグ（大きい方）をパソコンの USB コネクターに差し込む

本機の電源が自動的に入り、POWER/BUSY 表示ランプが緑色に点灯します。

お願い

- 専用 USB ケーブル以外は使用しないでください。
（本機やパソコン本体を損傷する恐れがあります。）
- 長時間使用しないときは、節電のため電源コードを電源コンセントから抜いておいてください。〔AC アダプターを接続した状態でも、約１W の電力を消費しています。（AC 100 V 時）〕
- 本機は、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。
USB ハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。
- 本機がパソコンに接続された状態で、パソコンが動作中は本機の電源は切らないでください。

お知らせ

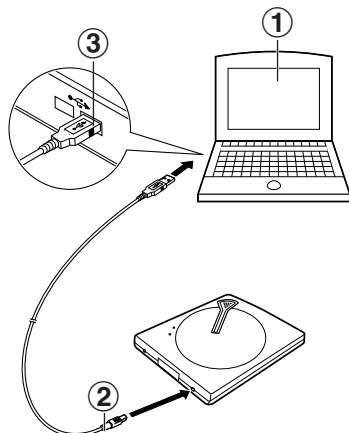
- 本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。
パソコンによっては連動しない場合があります。
- USB ケーブルを抜き差しすることとで、本機の電源は自動的に入／切されます。
- 本機は、ディスクカバーの開閉時に、動作電源（AC 電源／USB バスパワー）を認識し自動的に切り替えます。

USB バスパワーで使用する

本機は、パソコンの USB ポートからの電源供給（USB バスパワー）により、AC アダプターなしでも使用することができます。

お願い

● 本機をパソコンの USB バスパワーで使用する場合、USB バスパワー診断ツールで USBポートの電源供給能力を確認してください。（☞ 49 ページ）

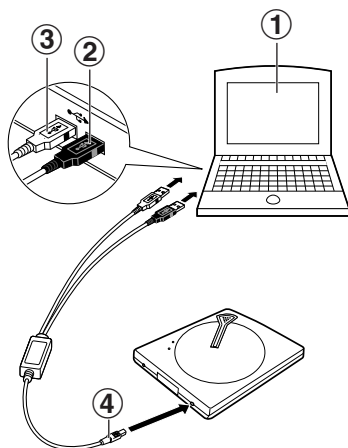
■ 専用 USB ケーブルで使用する場合

① パソコンを起動する

② 専用 USB ケーブルのプラグ（小さい方）を、本機の USB コネクターに差し込む

③ 専用 USB ケーブルのプラグ（大きい方）をパソコンの USB コネクターに差し込む

本機の電源が自動的に入り、POWER/BUSY 表示ランプが緑色に点灯します。

■ コンバインケーブルで使用する場合

コンバインケーブルで使用するには、パソコンの USB ポートが2つ必要です。

① パソコンを起動する

② コンバインケーブルのプラグ（黒・電源側）を、パソコンの USB コネクターに差し込む

③ コンバインケーブルのプラグ（灰色・信号側）を、パソコンの USB コネクターに差し込む

④ コンバインケーブルのプラグ（小さい方）を本機の USB コネクターに差し込む

本機の電源が自動的に入り、POWER/BUSY 表示ランプが緑色に点灯します。

お願い

- 専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブル以外は使用しないでください。（本機やパソコン本体を損傷する恐れがあります。）
- 専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブルは本機専用です。本機以外では使用しないでください。
- 本機は、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。USB ハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。
- 本機がパソコンに接続された状態で、パソコンが動作中は本機の電源は切らないでください。
- 本機の電源は、パソコンの電源およびスリープに連動して自動的に入／切されます。パソコンによっては連動しない場合があり、自動的に切れない状態では常時パソコンの電力を消費しますので、付属ケーブルを取り外してください。

お知らせ

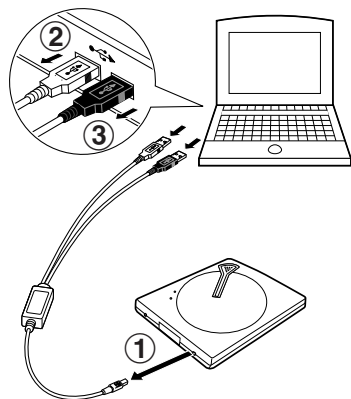
- PCI ボード・PCMCIA カードをご使用の場合は、USB バスパワーでの動作ができない場合があります。
- USB ポートの電源供給能力によっては、USB バスパワーでの動作ができない場合があります。
- 専用USB ケーブルおよびコンバインケーブルを抜き差しすることで、本機の電源は自動的に入／切されます。
- 本機は、ディスクカバーの開閉時に、動作電源（AC 電源／USB バスパワー）を認識し自動的に切り替えます。
- USB バスパワーで書き込みを長時間行う場合、パソコンは電源が切れないように AC 電源でのご使用をお奨めします。
- ご使用のパソコンに複数の USB ポートがある場合、ポートによっては USB ポートの電源供給能力に違いがあることがあります。
- USB バスパワーで本機を使用する場合は、本機単独でのご使用をお奨めします。

付属ケーブルの取り外し

専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブルを取り外す前に、書き込みソフトでの書き込みやデータの読み出し、音楽再生などの動作を終了し、本機からディスク（メディア）を取り出してください。

お願い
- 本機の取り外しは、パソコン（Windows）側で取り外しの操作をした後に、接続とは逆の順序で行ってください。
- POWER/BUSY 表示ランプの点滅中および WRITE 表示ランプオレンジ色点灯中は、
  ・専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブルを抜かないでください。
  ・AC アダプターを抜き差ししないでください。
  （データ破壊やパソコンの操作が不能になることがあります。操作が不能になった場合には、パソコンの再起動やリセットを行ってください。）
- 「B's CLiP」をご使用の場合には、タスクトレイに表示されている「B's CLiP」インジケータにカーソルを合わせて右クリックし、「取り出し」を選択し、ディスク（メディア）を取り出した後で専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブルを抜いてください。

本機の取り外しは、接続とは逆の順序で行ってください。

コンバインケーブルをお使いの場合は、①～③ の順にプラグを抜いてください。

① コンバインケーブルのプラグ（小さい方）を本機の USB コネクターから抜く

② コンバインケーブルのプラグ（灰色・信号側）を、パソコンの USB コネクターから抜く

③ コンバインケーブルのプラグ（黒・電源側）を、パソコンの USB コネクターから抜く

Windows XP / Windows 2000 の場合

1 画面右下（タスクトレイ）の「ハードウェアの取り外し」アイコン **をダブルクリックする**

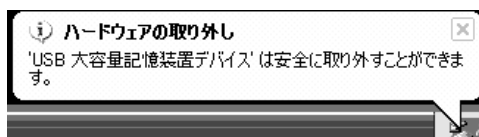
「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。
（OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。）

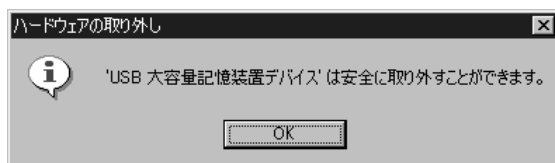
2 「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択し、停止 ボタンをクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3 「GENERIC CDRCB04 USB Device」が接続されていることを確認し、OK をクリックする

以降は画面の指示に従って操作してください。
専用USB ケーブルおよびコンバインケーブルを取り外した後に、
「ハードウェアの取り外し」画面を閉じてください。

■ Windows XP の場合

（しばらくすると自動的に消えます）

■ Windows 2000 の場合

Windows Me の場合

■ 本機付属のデバイスドライバーをご使用の場合

USB はホットプラグに対応していますので、パソコンの電源を切らずに専用USB ケーブルおよびコンバインケーブルを抜き差しできます。

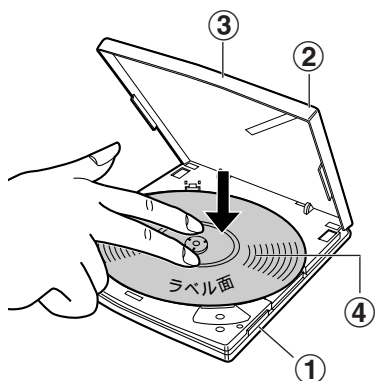
■ Windows Me で OS 標準デバイスドライバーをご使用の場合

1 画面右下(タスクトレイ)の「ハードウェアの取り外し」アイコン をダブルクリックする

以降は画面の指示に従って操作してください。

ディスクを入れる／取り出す

本機は、電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

ディスクを入れる

① 本機の電源を入れる

本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。

② オープンボタンを押す

ディスクカバーが少し開きます。
（使用中のアプリケーションからディスクの「取り出し」を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。）

③ ディスクカバーを持ち上げる（開く）

④ ディスクを入れる

ディスクの中心付近をディスクが固定されるまで指で押さえます。

⑤ ディスクカバーを閉じる

使う

お願い

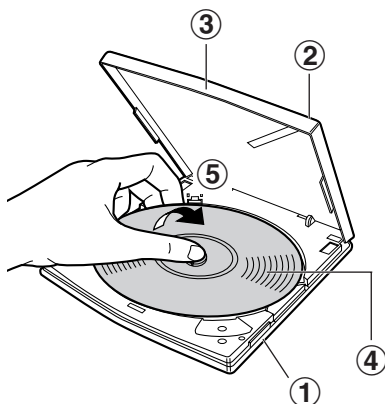
- ディスクは、確実にセットしてください。（確実にセットしないと、ディスクが外れ、傷つくことがあります。）
- 電源が入っていない場合は、ディスクカバーロックの強制解除を行ってください。（☞ 39ページをご参照ください。）

お知らせ

- 本機でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。
- 本機は、ディスクカバーの開閉時に、動作電源（AC 電源／USB バスパワー）を認識し自動的に切り替えます。

ディスクを入れる／取り出す

本機は、電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

ディスクを取り出す

① **本機の電源を入れる**
本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。

② **オープンボタンを押す**
ディスクカバーが少し開きます。
（本機を使用中のアプリケーションからディスクの「取り出し」を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。）

③ **ディスクカバーを持ち上げる（開く）**

④ **ディスクの回転が完全に止まるのを確認する**

⑤ **ディスクを取り出す**
中央部分を押さえながら、端の方からつまみあげるようにして、取り出します。

お願い

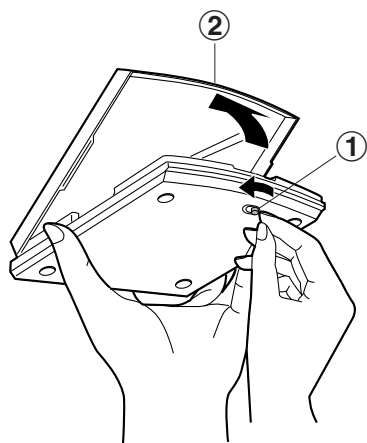
- パソコンと接続して使用している場合は、本機を使用しているアプリケーションを必ず終了させた後で、本機の POWER/BUSY 表示ランプが点滅していないこと、または WRITE 表示ランプがオレンジ色点灯していないことをご確認ください。

お知らせ

- B’s CLiP フォーマットされたメディアを使用中は、ディスクカバーがロックされますので、タスクトレイに表示されているインジケータから「取り出し」を選択して、ロックを解除してください。
- データ書き込み中は WRITE 表示ランプが点灯し、ディスクカバーがロックされますのでディスクカバーを開けることができません。

ディスクが取り出せないときは

■ ディスクカバーロックの強制解除

ディスクにデータ書き込み中の異常、停電などでオープンボタンを押してもディスクカバーが開かないときや本機の電源が入っていないときは、ディスクカバーロックを強制的に解除し、ディスクカバーを開けることができます。

① **本機裏側の強制オープンレバーをスライドさせる**

② **ディスクカバーを持ち上げる（開く）**

お願い

- ディスクの回転が止まらないときは、下記の操作を行い完全に回転を止めてください。
  - ・AC 電源で使用中は、AC アダプターの電源コードをコンセントから抜く
  - ・USB バスパワーで使用中は、専用USB ケーブルおよびコンバインケーブルを本機の USB コネクターから抜く

  回転中にディスクカバーを開けるとディスクが外れることがあります。

DVD-RAM ディスクを使う

DVD-RAM を使う

本機でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。

お願い

- カートリッジから取り出したディスクの表面は、ごみやほこり、指紋などで汚したり、傷つけたりしないでください。また、落としたり、曲げたり、ラベルを貼らないでください。データの読み込みができなくなります。

お知らせ

- DVD-RAM ディスクの取り出しかたは、製造メーカーによって異なる場合があります。ディスクの取扱説明書をよくお読みください。
- DVD-RAM ディスクの場合、ディスクを認識するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は、一度ディスクを取り出してセットし直してください。
  ディスクの状態（書き込み品質、汚れ、傷など）によっては、正常に読み込みができない場合があります。

DVD ビデオレコーダーで記録された DVD-RAM ディスクについて

「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや DVD ビデオカメラおよび同規格準拠の DVD-MovieAlbumSE 3 などのパソコン用記録ソフトで記録された DVD-RAM ディスクには“ DVD_RTAV ”フォルダーが作成されます。

パソコンでこのフォルダーやフォルダー内のファイルにアクセスしないでください。このフォルダー内の一部のファイルは 2 GB を超えているものがあり、容量が 2 GB を超えるファイルは、Windows 98 の仕様上の制限により、コピーができなかったり、容量表示が正しく表示されない場合があります。

また、このフォルダーやフォルダー内のファイルを削除、変更すると、DVD ビデオレコーダーやパソコン用記録ソフトで再生ができなくなります。

各種ディスクを使う

■ CD-R ディスクを使う

付属の B's Recorder GOLD BASIC（☞ 46ページ）を使用して、
データや音楽ディスクの作成ができます。
（本機では、B's CLiP での CD-R ディスクに対する書き込みはサポート
されていません。）

■ CD-RW ディスクを使う

付属の B's CLiP（☞ 46ページ）のフォーマット機能で CD-RW ディスクを
フォーマット後に、ファイル単位でデータを書き込むことができます。
また、B's Recorder GOLD BASIC を使用して、データや音楽ディスクの
作成などもできます。

■ ビデオを再生する

付属の WinDVD（☞ 43ページ）を使用して、DVD-Video や Video CD
などが再生できます。

■ DVD-ROM / CD-ROM ディスクを使う

**DVD/CD-ROM の使用方法については、それぞれの DVD/CD-ROM
（アプリケーション）に付属の説明書や Readme ファイルなどをご参照
ください。**

■ 音楽 CD を再生する

本機で音楽 CD を再生するには、パソコンのデジタル再生が「有効」に設定さ
れている必要があります。デジタル再生が「有効」に設定されていれば、
パソコンに接続されたスピーカー（パソコン内蔵の場合もあります）から音楽
を聞くことができます。
（詳しくは、パソコンの取扱説明書をご参照ください。）

アプリケーションをインストールする前に

他社または旧バージョンの書き込みソフトや DVD ビデオ再生ソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
インストールされていない場合は、付属ソフトのインストールにお進みください。

■ アプリケーションの削除方法

OS によっては表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。

1 タスクバーから［スタート］→［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］を選択する

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

2 「現在インストールされているプログラム」の一覧で削除するソフトを選択し、 変更と削除 をクリックする

以降は画面の指示に従って操作してください。

3 アプリケーションの削除が完了したら、プログラムの追加と削除を終了して、パソコンを再起動する

ビデオ再生ソフトのインストール

■ 付属のビデオ再生ソフトについて

本機にはビデオ再生ソフトとして、InterVideo 社製 WinDVD が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。インストールおよび取り扱いについては、付属のクイックガイドをよくお読みください。

お願い

- ご使用のパソコンに、旧バージョンのビデオ再生ソフトや他社の同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
- 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがあれば終了してください。

お知らせ

- Windows XP / Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザー名でログインして、インストールしてください。

インストールするには

1 付属の CD-ROM を本機にセットする

（自動的に起動し、下記画面が表示されます。）

お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の「Asmenu.exe 」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

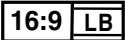
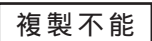
2 WinDVD をクリックする

（WinDVD のインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。）

3 インストールが終了したら、 終了(X) をクリックする

使う

使用するには

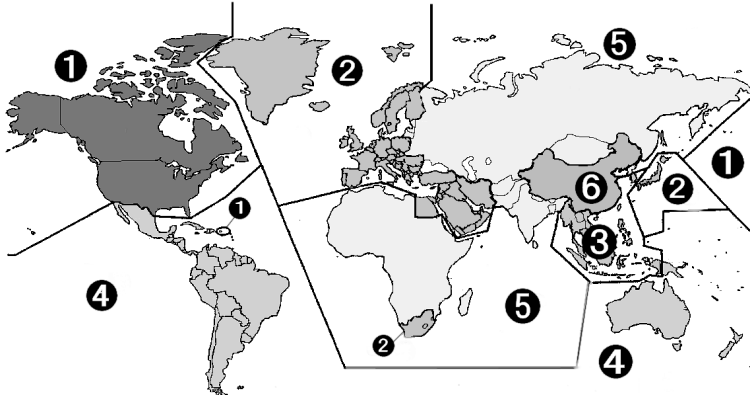
通常は、DVD ビデオをセットするだけで自動的に再生が始まります。
（自動再生のオプションが オン に設定の場合）
自動的に再生しない場合は、タスクバーから［スタート］→
［すべてのプログラム］→［InterVideo WinDVD 4］→
［InterVideo WinDVD 4］を選択してください。
WinDVD の操作パネルは、家庭用ビデオデッキの感覚で操作できます。

お知らせ

- ビデオ再生ソフトの使用方法については、付属の WinDVD クイックガイドまたは、CD-ROM に収録の PDF などのマニュアルをご参照ください。マニュアルを読むには、 WinDVD マニュアル をクリックしてください。
- DVD ビデオの再生画質は、ディスクやパソコンの能力、使用条件により変化します。

機能表示の見かた

機能表示	表示の意味
3	音声数
1	字幕数
2	アングル数
16:9 LB	収録画面サイズの種類
2	再生可能地域コード
複製不能	コピープロテクト
片面・1層ディスク	ディスク形式

■ 再生可能地域コード（リージョンコード）について

多くの DVD ビデオ（DVD ディスク）は、リージョンコードにより保護されています。リージョンコードは、下図のように地域ごとに管理されています。

DVD ビデオを見るためには、下記のリージョンコードが一致している必要があります。

- DVD ディスクのリージョンコード
- 本機のリージョンコード
- 再生ソフト（WinDVD）のリージョンコード

異なるリージョンコードの、DVD タイトルを再生しようとした場合は、警告画面が表示されますので、OK をクリックすれば、リージョンコードの設定画面が表示されます。設定内容を確認し OK をクリックすれば、再生ソフト（WinDVD）と、DVD タイトルの再生ドライブ（本機）は、その新しいリージョンコードに設定されます。設定変更を確認し画面を終了すると再生が始まります。

本機出荷時のリージョンコードは　2　に設定されています。
変更は合計5回まで行うことが可能ですが、出荷時に1回目を使用しますので、変更可能な回数は4回までとなります。

お知らせ

- **4回目以降は最後に設定したリージョンコードに固定され、変更はできなくなりますので、十分にお気をつけください。**
  不正にリージョンコードを改変した場合のトラブルは、お客様の責任となります。

使う

書き込みソフトのインストール

■ 付属の書き込みソフトについて

本機には書き込みソフトとして、BHA 社製 B’s Recorder GOLD BASIC、B’s CLiP が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。
インストールおよび取り扱いについては、付属のクイックガイドをよくお読みください。本機では DVD 系のメディアに対する書き込み・消去はできません。

● **ライティングソフト（B's Recorder GOLD BASIC）**
CD-R/-RW、DVD-R/-RW ライティングソフトウェアで、DVD-RAM ディスクへの書き込みにも対応した多彩な書き込みソフトです。

● **パケット記録ソフト（B's CLiP）**
CD-RW、DVD-RW ディスクに、フロッピーディスクや DVD-RAM ディスクと同じような感覚でファイルを移動、保存、消去する、常駐型の書き込みソフトです。

お願い

- ご使用のパソコンに、旧バージョンまたは他社の同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
（削除方法については、☞ 42ページをご参照ください。）
他社のパケット記録ソフトと重複してインストールすると、付属のパケット記録ソフトや UDF リーダーが正常に動作しない場合があります。
- 書き込みソフトのインストールは、USB ドライバーや UDF リーダーのインストールが終了した後で行ってください。（☞ 24、27ページ）
- Windows XP で B's CLiP をご使用いただく場合は、Windows XP の書き込み機能は 使用しない設定にしてください。

お知らせ

- Windows XP / Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザー名でログインして、インストールしてください。

インストールするには

1 付属の CD-ROM を本機にセットする

（自動的に起動し、下記画面が表示されます。）

お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の「Asmenu.exe 」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

2 インストールするソフト B's Recorder GOLD または B's CLiP をクリックする

（選択されたソフトのインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。）

お知らせ

- B's Recorder GOLD BASIC と B's CLiP を続けてインストールされる場合は、途中での再起動は不要です。すべてインストールした後で再起動してください。

3 インストールが終了したら、 終了(X) をクリックし、パソコンを再起動する

（書き込みソフトが使用できるようになります。）

使う

使用するには

■ B's Recorder GOLD BASIC の場合

B's Recorder GOLD BASIC を起動するには、 スタート をクリックし、「すべてのプログラム」から「B.H.A」、「B's Recorder GOLD BASIC」、「B's Recorder GOLD BASIC」の順に選択し、クリックします。

■ B's CLiP の場合

B's CLiP は、Windows を起動すると自動的に常駐します。
本機に未使用のディスク（メディア）や B's CLiP フォーマットされたディスク（メディア）をセットすると、B's CLiP が自動的に起動します。

お願い

- Windows XP をお使いの場合は、Windows XP の書き込み機能は使用しない設定にしてください。
  （タスクバーから［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックし、DVD/CD-RW ドライブ（本機）を右クリック、［プロパティ］→［書き込み］をクリックし、「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックをはずします）

お知らせ

- 書き込みソフトの使用方法については、付属の クイックガイドまたは、CD-ROM に収録の PDF などのマニュアルをご参照ください。マニュアルを読むには、 B's マニュアル をクリックし、必要なマニュアルを選択してください。
  なお、マニュアルをお読みいただくためには、Adobe Acrobat Reader（Version4.0 以上）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属の CD-ROM に入っていますので Acrobat Reader をクリックして、インストールしてください。

■「B's Recorder GOLD BASIC、B's CLiP」について

インターネットのホームページより、「B's Recorder GOLD BASIC、B's CLiP」のバージョンアップなどの最新情報を入手できます。
（☞ 70ページ）

USB バスパワー診断ツールを使う

本機はACアダプターでの使用以外に、パソコンの USB バスパワーでも使用できます。USB バスパワーで本機を使用する場合は、USB バスパワー診断ツールで USB ポートの電源供給能力を確認してください。

お願い

- USB バスパワー診断ツール使用時、パソコン上で他の操作をしないでください。
- 他のストレージ USB 機器（USB マウス、USB キーボードなどは除く）を同時に使用される場合、USB バスパワー診断ツールの結果に関わらず AC アダプターを接続した状態でご使用ください。

お知らせ

- USB ポートの電源供給能力によっては、USBバスパワーでの動作ができない場合があります。
- ご使用のパソコンに複数のUSBポートがある場合、ポートによってはUSB ポートの電源供給能力に違いがあることがあります。
- コンバインケーブルを使用するにはUSBポートが２つ必要です。
- USBバスパワーで本機を使用する場合は、本機単独でのご使用をお奨めします。
- USB バスパワー診断ツール実行中にディスクカバーが開けられたり、ケーブルが取り外されたりした場合、診断ツールは終了します。
- パソコンによっては USB バスパワー診断ツールを使用した後で、パソコンの再起動が必要な場合があります。

1 ACアダプターを接続した状態で専用 USB ケーブルを使ってパソコンと本機を接続する

〔「AC 電源で使用する」（☞ 31ページ）をご参照ください。〕

2 付属のCD-ROMを本機にセットする

自動的に起動し
セットアップメニューが表示
されます。

バスパワー診断ツール

お知らせ
- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM の アイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の「Asmenu.exe 」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

3 バスパワー診断ツール をクリックする

USB バスパワー診断ツールが起動します。

4 画面の指示に従って操作します

(『本機から AC アダプターを抜いてください。』と表示されたら、AC アダプターを抜き、 テスト をクリックしてください。)

5 テストが終了すると診断結果が表示されます

■『接続されたケーブルで使用可能です。』と表示されたら

接続されたケーブルでご使用いただけます。
終了 をクリックしてください。

■『接続されたケーブルでは使用できません。』と表示されたら

終了 をクリックしてケーブルを取り外しパソコンを再起動してください。

お知らせ
専用USBケーブルで使用できない場合は
- コンバインケーブルにつなぎ替えて、1 以降の手順で再度テストしてください。
- コンバインケーブルでのテストでも同じ結果が表示された場合は、AC 電源でご使用ください。

インストール用フロッピーディスクの作成

以下の手順でドライバーソフト（USB ドライバー、UDF リーダー）のインストール用および起動ディスク作成ツールのフロッピーディスクを作成することができます。

1 **フォーマット済みのフロッピーディスクを1枚準備する**

2 **パソコンに本機を接続する**

「AC電源で使用する」（☞ 31ページ）をご参照ください。

3 **付属のCD-ROMを本機にセットする**

自動的に起動し
セットアップメニューが表示
されます。

CB35 マニュアル

4 **CB35 マニュアル をクリックする**

5 **インストールFD作成 をクリックする**

インストールフロッピーディスク作成ツールが起動しますので、画面の指示に従って操作してください。

使う

CD-ROM 起動ディスクの作成

お使いのパソコンに問題が発生した場合は、ここで作成した CD-ROM 起動ディスクをパソコンにセットして起動することで、本機を使ってシステムのリカバリー（再インストール）を行うことができます。
起動ディスク作成ツールのフロッピーディスクを作成（☞ 51ページ）した後に、つづけて CD-ROM 起動ディスクを作成されることをお奨めします。
このツールは、パソコンに付属の起動用フロッピーディスクに対して変更を行います。
（Windows XP、Windows 2000 のパソコンには、起動ディスクが付属しない場合があります。）

お知らせ

- スーパーディスクドライブでは「CD-ROM 起動ディスク」は作成できません。パソコン用のフロッピーディスクドライブをお使いください。
- Windows Me や Windows 98SE など複数の OS を切り替えて使用されているパソコン環境においては、「CD-ROM 起動ディスク」の作成は対応していません。
- システムのリカバリーには、パソコンに付属のリカバリー CD が必要です。本機でシステムのリカバリーをされる場合は AC 電源でご使用ください。
- 内蔵 CD-ROM ドライブを搭載しているパソコンの場合、リカバリー作業はパソコン付属の取扱説明書の記述に従って、内蔵 CD-ROM ドライブから行ってください。本機用の「CD-ROM 起動ディスク」を作成する必要はありません。
- パソコンによっては、リカバリーできない場合があります。

B's Recorder GOLD で作成した起動ディスクに対して変更を行い、本機でハードディスクのバックアップ／復元を行うための起動用フロッピーディスクを作成できます。

B's Recorder GOLD を起動し、環境設定 ボタンをクリックし起動用フロッピーディスクを作成してください。（詳しくは B's Recorder GOLD のマニュアルをご参照ください。）

お知らせ

- 「起動ディスクにリストア用プログラムを含む」にチェックを付けて、起動ディスクを作成してください。
- パソコンによっては、リカバリーできない場合があります。

1 作成手順

準備

- **51ページの手順で作成したインストール用フロッピーディスク、およびフロッピーディスクドライブ**
- **Ⓐ または Ⓑ の起動ディスク**

Ⓐ パソコン付属（またはパソコン指定）の起動ディスクをコピーしたもの
（パソコン付属の起動ディスクは保管し、コピーしたものをお使いください。
Windows XP、Windows 2000 のパソコンには、起動ディスクが付属しない場合があります。）

Ⓑ B's Recorder GOLD で作成した起動ディスク

1 **フロッピーディスクドライブに、インストール用フロッピーディスクを入れる**

2 **スタート をクリックし、「ファイル名を指定して実行(R)...」をクリックする**

3 **「名前(O):」ボックスに** a:￥f2h＼f2hat.bat **と入力し、OK をクリックする**（フロッピーディスクドライブが A の場合）

```
###   CD-ROM 起動ディスク作成プログラム   ###
(C) Panasonic Communications Co., Ltd. 2000-2003

CD-ROM 起動ディスクを作成します。下記のものを準備してください。

・「パソコン付属の起動ディスク」のコピー
  （システムのリカバリー用）
  または
・ B's Recorder GOLD で作成した起動ディスク
  （ハードディスクのバックアップ/リストア用）

1 準備できました
2 準備できていません

「1」または「2」を選択してください。
```

上記の画面が表示されます。準備ができたら「1」を選択してください。
以後は、画面の指示に従ってください。

お知らせ
- 作成した CD-ROM 起動ディスクでリカバリー CD を認識できない場合には、インストール用フロッピーディスクの F2h フォルダ内の「Readme.txt」ファイルをご参照ください。
- 実際のシステムリカバリー作業は、リカバリー CD が認識されることを確認された後に行ってください。
- 作成した CD-ROM 起動ディスクは、書き込み不可の状態にして大切に保管してください。

2 CD-ROM 起動ディスクの確認

システムのリカバリー

Ⓐ 1 の Ⓐ で作成した起動ディスクの場合

お願い
- リカバリー CD の取り扱いについては、パソコンの取扱説明書をよくお読みください。
- ご使用のパソコンに付属の説明書などを参考にして、リカバリー CD が認識されることを確認してください。
ここでは、リカバリー CD が認識された段階で中止して、実際のリカバリーは行わないでください。

1. **フロッピーディスクドライブに、1 で作成した CD-ROM 起動ディスクを入れる**
2. **本機にリカバリー CD を入れ、パソコンに接続する**
3. **パソコンの電源を入れ、起動させる**
4. **本機が認識されたことを確認し、リカバリーを中止する**

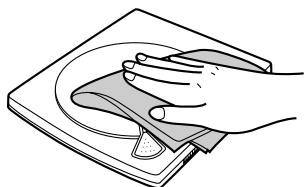
B's Recorder GOLD の HDD のバックアップ／復元

Ⓑ 1 の Ⓑ で作成した起動ディスクの場合

1. フロッピーディスクドライブに、1 で作成した CD-ROM 起動ディスクを入れる
2. 本機にディスク（メディア）を入れず、パソコンに接続する
3. パソコンの電源を入れ、起動させる
4. ESC キーをクリックして「B's Restore Program」を終了する
5. ディスク（メディア）を入れて dir q: を入力し、ディレクトリ表示されることを確認する

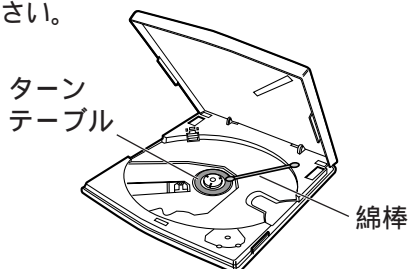
お手入れ

■本体表面が汚れたら

柔らかい布でふいてください。

■ターンテーブルが汚れていたら

ターンテーブル（黒い部分）を綿棒（市販品）で円周状に軽くふいてください。

ターン
テーブル

綿棒

レンズにはふれないでください。

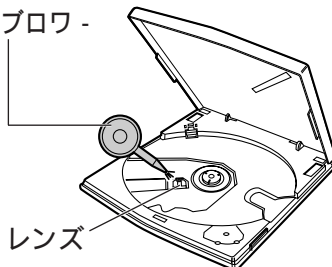
■ディスクが汚れていたら

柔らかい布で、内側から外側へ放射状に軽くふいてください。

■レンズが汚れていたら

レンズをカメラのレンズ用ブロワー（市販品）でお手入れしてください。

カメラのレンズ用
ブロワー

レンズ

ディスクタイプのレンズクリーナーのご使用は、故障の原因となる場合があります。

お願い

- レコードクリーナー、静電防止スプレーや薬剤（ベンジン、シンナー、アルコールなど）は使わないでください。変形、変色の原因になります。
- DVD-RAM ディスクには、ディスククリーナー LF-K200DCJ1 をご使用ください。

故障かな!? と思ったら

まず、次の表に従って確認してください。それでも直らないときは、「保証とアフターサービス」（☞ 71ページ）をご参照ください。

	こんなときには	ここをお調べください
1	**本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない**	**ACアダプターが正しく動作していますか？** ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。ACアダプターの電源コードをコンセントから抜き、2～3分放置後再度コンセントに差してください。
		ケーブルが正しく接続されていますか？ ●正しく接続されているかご確認ください。☞ 31ページ ●USBバスパワーでご使用の場合は、 ・USBバスパワー診断ツールでUSBポートの電源供給能力を確認してください。☞ 49ページ ・USBポートによっては電源供給能力が異なる場合があります。
		パソコンへのセットアップを行いましたか？ ●パソコンのセットアップ（USBドライバー、UDFリーダーのインストール）を行ってください。☞ 24、27ページ ●インターフェースカードをご使用の場合は、各社の最新ドライバーをご使用ください。☞ 23ページ
		正常なケーブルの取り外しをしましたか？ 本書記載の手順（☞ 34ページ）に従わなかった場合、ドライブアイコンが見えなくなる場合があります。パソコンを再起動してください。
		ケーブルのピンが曲がったり、折れたりしていませんか？ お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。☞ 72ページ

（次ページに続きます。）

こんなときには	ここをお調べください
1 **本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない**	本機の電源が切れていませんか？ 本機の電源を入れ、パソコンを再起動してください。
	使用 OS が合っていますか？ Windows XP / Windows 2000 / Windows Me で動作します。
	デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。 （OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用 OS の表現に読み替えてください。） **1 ［スタート］→［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］を選択する** **2 ［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］→［表示］→［デバイス（種類別）］を選択する** インストール後、本機がパソコンに接続されると以下の様に表示されます。 ● Windows XP / Windows 2000 の場合（OS 標準ドライバー） DVD/CD-ROM ドライブ GENERIC CDRCB04 USB Device USB (Universal Serial Bus) コントローラ USB 大容量記憶装置デバイス ● Windows Me の場合（本機付属のドライバー） CD-ROM GENERIC CDRCB04 ハード ディスク コントローラ CDRCB04 USB Adapter ユニバーサル シリアル バス コントローラ CDRCB04 USB device driver

（次ページに続きます。）

こんなときには	ここをお調べください
1 本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない	● Windows Me の場合（OS 標準ドライバー） CD-ROM GENERIC CDRCB04 ユニバーサル シリアル バス コントローラ USB 大容量記憶装置デバイス 記憶装置 USB CD-ROM 不明な点がある場合は、ヘルプファイルをご参照ください。☞ 30ページ
2 DVD-RAM ディスクが認識されない	**UDF 形式でフォーマットされたディスクを使っていますか？** DVD ビデオレコーダーで UDF2.0 形式にフォーマットされたディスク、または DVD-RAM ドライブで UDF1.5 または UDF2.0 形式にフォーマットされたディスクをお使いください。
	UDF2.0 形式でフォーマットされたディスクをセットしていませんか？ 本機のセットアップ（CB 35ドライバーのインストール）を実行し、UDF リーダーをインストールしてください。☞ 27ページ
	ディスクが汚れたり傷ついたりしていませんか？ ディスクが汚れたり傷ついたりすると、読み込みができない場合があります。 ● お手入れしてください。☞ 13、56ページ

	こんなときには	ここをお調べください
3	**DVD-R、DVD-RW ディスクが読み込めない**	**ご使用の DVD ディスク（メディア）の形式や書き込み方式は正しいですか？** 本機で使用できる DVD-R は 4.7 GB（For General / Authoring）および 3.95 GB、DVD-RW は 4.7 GB の Ver1.1 に対応している必要があります。 ● 本機で使用できるディスク（メディア）記録方式は、下記ページをご参照ください。 ☞ 12、41、76ページ
4	**ディスクが取り出せない（ディスクカバーが開かない）**	**本機が動作中になっていませんか？** ● ディスクにデータ書き込み中はオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。書き込みが終了するのをお待ちください。 ● B's CLiP をご使用の場合には、タスクトレイに表示されているインジケータにカーソルを合わせて右クリックし、「取り出し」を選択してください。 ディスクの「取り出し」を選択してもディスクカバーが開かない場合は、強制オープンレバーを操作してください。 ☞ 39ページ
5	**本機、ACアダプターなどが温かい**	故障ではありません。 異常に高温になる場合は、AC アダプターの電源コードを外し、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。 ☞ 72ページ、裏表紙

こんなときには	ここをお調べください
6 正常な書き込みができない	**ご使用のメディアや書き込み方式は正しいですか？** ●本機では、パケット記録（B's CLiP を使用）での CD-R メディアへの書き込みは対応していません。パケット記録には CD-RW をご使用ください。 ●Windows XP をお使いの場合は、Windows XP の書き込み機能は使用しない設定にしてください。☞ 48ページ ●「こんな疑問や質問があったら」（☞ 63ページ）および書き込みソフトの説明書をご参照ください。
7 ディスクを入れたのに音とびしたり、データが読み書きできない	**ラベル面を上にして、ディスクを入れていますか？** ディスクの向きをご確認ください。☞ 37ページ
	ディスクまたは本機のレンズが汚れていませんか？ お手入れしてください。☞ 56ページ
	ディスクに傷がありませんか？ 本機に異常がないことを確かめるために、別のディスクに取り替えてみてください。
	ゴミが本機のターンテーブルの上に付着していませんか？ お手入れしてください。☞ 56ページ

（次ページに続きます。）

	こんなときには	ここをお調べください
7	ディスクを入れたのに音とびしたり、データが読み書きできない	本機やディスクが結露していませんか？ ディスクを取り出して約1時間放置してください。
		本機対応のディスクを使用していますか？ お使いのディスク（メディア）をご確認ください。 ☞ 12、75、76ページ
8	音が聞こえない	パソコンの音楽 CD 再生ソフトを使って本機で音楽 CD を再生する場合は、デジタル再生を「有効」に設定する必要があります。 デジタル再生は「有効」に設定されていますか？ お使いのパソコンの取扱説明書をご参照のうえ、デジタル再生を「有効」に設定してください。
		パソコン側の音量ボリュームを下げすぎていませんか？　また、音量ボリュームの設定が「ミュート」になっていませんか？ パソコン側の音量ボリュームを調整してください。

こんな疑問や質問があったら

本機についての疑問は、「故障かな!? と思ったら」を先にお読みください。
(☞ 57ページ)

■ 書き込みについて

Q 書き込み途中で失敗してしまうのですが、どうしたらいいですか？

A SmoothLink 機能が動作していない可能性があります。書き込みソフトの SmoothLink 機能の設定と下記内容をお確かめください。

- サスペンド／レジューム機能が働かないようにする。
- 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。

SmoothLink 機能を使用しない場合は、メディアへ書き込むためのデータがパソコンから送られてくるときに、そのデータが途中で途切れたりすると書き込みが失敗してしまいます。

これを防ぐには、

- 書き込み速度を変えてみる。(低速にする)
  実際に書き込みを行う前に、書き込みソフトで「テスト書き込み」を行ってご確認ください。
  パソコンの使用環境によっても使用可能な書き込み速度が変わる場合がありますので、
  下記内容をお確かめください。

- ハードディスクのメンテナンスを行う。
  (スキャンディスクの後にデフラグを行ってください。)
- サスペンド／レジューム機能が働かないようにする。
- 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。
- スクリーンセーバーを止める。
- Active Desktop を止める。
- ネットワーク接続をしない。

Q 書き込みに失敗するのですが？

A 本機の推奨メディアをご使用ください。合わせてご使用のメディアと書き込み速度をお確かめください。
- ディスク（メディア）は本機の推奨品をご使用ください。（☞ 75ページ）
- CD-RW メディアで 4 ～10 倍速の書き込みにはHigh Speed 対応のメディアを、8 倍速を超える書き込みには Ultra Speed 対応のメディアをご使用ください。

Q 書き込みに時間がかかるのですが？

A BIOS で USB 1.1 / USB 2.0 の設定を切り替えて使用するパソコンがあります。
パソコンの取扱説明書をご参照のうえ、USB 2.0 でご使用ください。

A USB バスパワーでご使用の場合、書き込みは 8 倍速になります。

A ご使用のメディアによっては、指定の書き込み速度で書き込みできない場合があります。

Q 書き込む前と後ではデータのサイズが違うのですが？

A ディスク（メディア）とハードディスクなどのセクタサイズが違うことが原因です。そのため、ディスク（メディア）に書き込んだときは、ハードディスクなどに格納されたデータサイズより若干大きくなります。
また、書き込みモードによっては、書き込むデータのほかに情報エリア分の領域も使用します。

Q オリジナルのベスト版音楽 CD を作成したいのですが？

A それぞれの音楽 CD から WAV ファイルとしてハードディスクに取り込み、それを付属の書き込みソフトを使って書き込みます。詳しくは、付属の書き込みソフトのマニュアルをご参照ください。

Q 複数のドライブ、または複数の書き込みソフトを使用して追記できますか？

A 同じドライブ、同じソフトで書き込むようにしてください。
追記する前のデータが読み込めなくなったり、本機およびその他のドライブでデータの読み込み・書き込みが正常にできなくなる場合があります。

Q パソコンにいくつもの書き込みソフトをインストールしたままで書き込みできますか？

A 以下の場合、正常に書き込みできないことがあります。

- 複数の書き込みソフトが同時に起動されている。（常駐するタイプの書き込みソフト含む）
- バージョンの違う書き込みソフトがインストールされている。

Q パソコン内蔵ドライブから、音楽データ（CD-DA 形式）などをオンザフライで書き込みができません？

A パソコン内蔵の CD-ROM ドライブでは、音楽データ（CD-DA 形式）などを高速読み出しできないものがあります。

- 本機を使用して、パソコンのハードディスクドライブにデータを取り込んで、書き込みを行ってください。詳しくは、書き込みソフトのマニュアルをご参照ください。
- ハードディスクのメンテナンスを行ってください。（スキャンディスクの後にデフラグを行ってください。）
- 書き込みソフトの SmoothLink 機能が ON に設定されているかご確認ください。（インストール直後は、ON に設定されています。）

■ 読み込みについて

Q 最高速で読み込めないのですが？

A USB2.0 に設定されているかご確認ください。
デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。
（OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。）

1 **［スタート］→［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］を選択する**

2 **［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］→［表示］→［デバイス（接続別）］を選択する**

インストール後、本機がパソコンに接続されると以下のように表示されます。

USB2.0 に設定されている場合（Windows XP 例）

PCI バス
Intel(R) 82801DB/DBM USB 2.0 Enhanced Host Controller - 24CD
USB 2.0 Root Hub
USB 大容量記憶装置デバイス
GENERIC CDRCB04 USB Device

通常 **Enhanced Host Controller** に接続されます。

USB1.1 に設定されている場合（Windows XP 例）

PCI バス
Intel(R) 82801DB/DBM USB Universal Host Controller - 24C7
USB ルート ハブ
USB 大容量記憶装置デバイス
GENERIC CDRCB04 USB Device

通常 **Universal Host Controller** または
Open Host Controller に接続されます。

Q 最高速で読み込めないのですが？

A ディスクによっては最高速で読み込めないものがあります。

- 規格外ディスクの場合は、最高速では読み込めない場合があります。

Q 本機で書き込んだディスク（メディア）は、他のドライブでも読み込めますか？

A
- **CD-R/CD-RW の場合**

  マルチリードに対応したドライブをご利用ください。

  一部の CD-ROM ドライブでは、読み込みできない場合があります。

Q 他のドライブで書き込まれたディスク(メディア)は読めますか？

A 通常は読み込めます。
ただし、いくつものドライブで書き込まれたものは、読み込めない場合があります。
また、一部のドライブによって書き込まれたメディアは、読み込みできない場合があります。

Q 音楽データ（CD-DA 形式）をパソコン側に取り込みたいのですが？

A 付属のライティングソフトを使用してデータの取り込みを行ってください。パソコン上で、本機よりドラッグ＆ドロップをしてもハードディスクなどには取り込めません。

A コピープロテクト（コピーコントロール）された CD からのデータ取り込みには対応していません。

■ DVD ビデオ再生について

Q DVD ビデオの音や画像がスムーズに再生できない

A DVD ビデオをスムーズに再生するには、パソコンのシステム能力が要求されます。DVD ビデオ再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- インターフェースが USB1.1 の場合、画像や音声が途切れることがあります。
  USB2.0 でご使用ください。
- 他のアプリケーションを起動していたら終了してください。多くのアプリケーションを起動すると、CPU 能力が不足する場合があります。
- ディスプレイの表示領域や色の設定を変更してください。表示領域や表示色を少なくすると、CPU 能力を有効に使用できます。
- CPU のスピード設定をご確認ください。パソコンによっては、CPU 能力の低い省電力モードに設定されている場合があります。
- 音声がミュートに設定されていないかご確認ください。

Q DVD ビデオが再生できない

A DVD ビデオ再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- 複数のドライブが接続されている場合は、
  本機が選択されていない場合があります。
- DVD ビデオと本機および、再生ソフトの
  リージョンコードが合っていないと再生できません。リージョンコードが合っているかご確認ください。

Q DVD ビデオが再生できない

A DVD の記録方式によっては、自動再生できない場合があります。
下記の方法でご使用ください。

- はじめに WinDVD を起動して本機にディスクをセットしてください。
- WinDVD の再生メニューからファイルを選択して、再生してください。

■ その他

Q 付属以外の書き込みソフトで、本機が認識されません。どうしてですか？

A 書き込みソフトが、本機に対応しないとご使用いただけません。

Q 縦置きで使用できますか？

A 縦置きでの動作は保証されておりません。
故障の原因となる場合があります。
水平に設置された状態でご使用ください。

Q USB バスパワーで動作中に AC アダプターを接続してもいいですか？

Q AC 電源で動作中に AC アダプターを外してもいいですか？

A POWER/BUSY 表示ランプ点滅中および WRITE 表示ランプ点灯中は AC アダプターを抜き差ししないでください。
本機は、ディスクカバーの開閉時に、動作電源（AC 電源 / USB バスパワー）を認識し自動的に切り替えます。

製品サポートのご案内

本機の製品情報・ユーザーサポートやユーザー登録について

本機の製品情報やユーザーサポートに関する情報やユーザー登録をインターネットでご案内していますので、下記アドレスでご利用ください。

■ 製品情報およびユーザーサポート

（ユーザーサポートに関しては、72ページもご参照ください。）

http://panasonic.jp/p3/

■ ユーザー登録（ユーザー登録をしていただきますよう、お願いいいたします）

（付属の CD-ROM の ユーザー登録 からもご利用いただけます。）

http://panasonic.jp/p3/user/index.html

本機付属のアプリケーションに関しては、下記に直接お問い合わせをお願いします。

WinDVD 4 について

インタービデオジャパン株式会社

ホームページ　：http://www.intervideo.co.jp/
メールでの問い合わせ　：support@intervideo.co.jp
ユーザーサポート　：TEL ：（03）5447－0576
FAX ：（03）5447－6689

月～金 9：30 ～12：00　13：30 ～17：00
（夏季休暇、年末年始休暇、特定休業日・土、日、祝祭日を除く）

B's Recorder GOLD BASIC / B's CLiP5 について

株式会社ビー・エイチ・エー サポートセンター

ホームページ　：http://www.bha.co.jp/
オンラインサポート　：http://www.bha.co.jp/support/
ユーザーサポート　：TEL ：（06）4861－8234
（B's Recorder GOLD BASIC / B's CLiP5 専用回線）
FAX ：（06）6378－3336

月～土 10：00 ～12：00　13：00 ～17：00
（夏季休暇、年末年始休暇、特定休業日、日、祝祭日を除く）
※ ご回答には、2 ～3 営業日お時間をいただく場合がございます。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などで
お困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「P³カスタマーサポートセンター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

57 ページの「故障かな!? と思ったら」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	ポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブ
品　番	KXL-CB35AN
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　**修理ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・ＰＨＳ等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

商品についてのお問い合わせは

P3カスタマーサポートセンター

電話 03-3436-1888
FAX 03-3436-1889

10:00～12:00、12:45～17:00
（※土・日・祝日は除く）

最新の情報をインターネットで
http://panasonic.jp/p3

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区			
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	**帯広**	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151	**函館**	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631

東北地区			
青森	青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712	**宮城**	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	**山形**	山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
岩手	盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	**福島**	福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0903A

P³カスタマーサポートセンター行　（FAX　03-3436-1889）

【サポート依頼書】

整理番号：

お問い合わせ日	年　月　日	品　番	**KXL-CB35AN**
お買い上げ日	年　月　日	製造番号（11ケタ）	
フリガナ お名前		ユーザー登録：済 ／ 未	
ご住所（ご連絡先） □ご自宅 □勤務先	☎　（　） FAX　（　） E-mail　@		
購入店名			

ご使用中のパソコンの機種（メーカー）名	
メーカー名	機種名

ご使用中の OS の名称とバージョン（いずれかに○をつけてください）		
Windows XP （Home Edition / Professional）（初期導入 / アップグレード）	Windows 2000 （初期導入 / アップグレード）	Windows Me （初期導入 / アップグレード）

ご使用中のおもな周辺機器	メーカー名	形式名

どのような状況になりましたか？（エラーメッセージ、「故障かな!? と思ったら」でチェックした項目番号など、できるだけ詳しくお書きください。）

※ 本用紙はプリントアウトしてご使用ください。

推 奨 品

下記の推奨品をお買い求めの際には、販売店に品名を指定してください。

■ 推 奨 品

ディスク	メーカー
CD-R	太陽誘電(株)、三井化学(株)、(株)リコー、三菱化学(株)、日立マクセル(株)
CD-RW	(株)リコー、三菱化学(株)
High Speed CD-RW	(株)リコー、三菱化学(株)
Ultra Speed CD-RW	三菱化学(株)

仕様

使用環境	温度 5 ℃～35 ℃　湿度 20 %～85 %（結露なきこと）
保存環境	温度 −20 ℃～55 ℃ 湿度 15 %～85 %（結露なきこと）
本体外形寸法	130 (幅)×157 (奥行き)×18.5 (高さ) mm
本体質量	約 305 g
電源	AC アダプター：KX-WZ712（付属） AC 100−240 V、50/60 Hz USB バスパワー：専用 USB ケーブル、 コンバインケーブル（付属）
消費電力	AC アダプター　：約10 W（AC 100 V 動作時） （AC アダプター単体：約1 W） USB バスパワー：約 5 W（USB バスパワー動作時）
対応インターフェース	USB2.0 および USB1.1（USB 2.0 での動作を推奨します）
専用 USB ケーブル	ケーブルの長さ　：約 0.5 m（コネクターを含む） 質量　：約 22 g
コンバインケーブル	ケーブルの長さ　：約 0.7 m（コネクターを含む） 質量　：約 63 g
バッファー容量	2 MB
読み込み・書き込み対応 ディスク*1	CD-R、CD-RW、High Speed CD-RW、 Ultra Speed CD-RW（いずれも、650 / 700 MB）
記録方式	Track at once、Disc at once、Packet writing、 Multisession
読み込み対応ディスク*1	CD-ROM（Mode 1、Mode 2 Form 1）、 CD-ROM XA（Mode 2 Form 2）、 CD-DA（音楽 CD）、CD-TEXT、CD-EXTRA、 Photo CD（マルチセッション対応）*2、Video CD、 DVD-ROM、DVD-Video、 DVD-RAM 4.7 / 9.4 / 2.6 / 1.4 / 2.8 GB*3、 DVD-R（for General、Ver 2.0） 1.4 / 4.7 GB、 DVD-R（for Authoring）*4 、 DVD-RW（Ver 1.1） 4.7 GB

*1 ディスク容量はアンフォーマット時の容量です。
両面ディスクは、同時に両面の再生はできません。
DVD-RAM/-R/-RWへの記録には対応していません。
*2 Photo CD 使用時には市販の再生ソフトが必要です。
*3 カートリッジ形式のディスクは、TYPE2、TYPE4 のディスク取り出しができるものに限ります。
*4 DVD-R 3.95 GB/4.7 GB for Authoring の、ディスクアットワンス方式で書き込まれたディスクに対応しています。

リージョンコード設定		出荷時設定	2（日本地域に設定）
		設定変更回数	4回（4回目以降は変更不可）
シークタイム （AC 電源/自社測定ソフトによる）		DVD-ROM	180 ms
		CD-ROM	130 ms
連続データ転送速度*5 （USB 2.0 の場合） 1倍速の転送レート DVD メディア：1350 KB/s CD メディア：150 KB/s	書き込み	AC アダプター使用	最大 24/最大 16 / 8 / 4 倍速（CD-R） 最大 16 /10 / 8 / 4 倍速（CD-RW）
		USB バスパワー使用	8 / 4 倍速（CD-R） 8 / 4 倍速（CD-RW）
	読み込み	AC アダプター使用	最大 24 倍速（CD-ROM / CD-R /-RW） 最大 20 倍速（CD-DA） 最大 4 倍速（DVD-R /-RW / DVD-Video） 最大 8 倍速（DVD-ROM Single） 最大 6 倍速（DVD-ROM Dual） 1 倍速（DVD-RAM 2.6 GB） 2 倍速（DVD-RAM 4.7 GB）
		USB バスパワー使用	最大 20 倍速（CD-ROM / CD-R /-RW） 最大 20 倍速（CD-DA） 最大 4 倍速（DVD-R /-RW / DVD-Video） 最大 6 倍速（DVD-ROM Single） 最大 6 倍速（DVD-ROM Dual） 1 倍速（DVD-RAM 2.6 GB） 2 倍速（DVD-RAM 4.7 GB）

※ 製品の定格およびデザインは、改善などのため、予告なく変更する場合があります。

対応 パソコン	DOS/V パソコン （USB ポートを搭載した機種に限ります）
対応 OS*6 *7	Windows® XP（日本語） Windows Me（日本語） Windows 2000（日本語）
CPU*6	Pentium®Ⅲ以降（Pentium®Ⅲ 700 MHz 相当以上を推奨）
メモリー*6	64 MB 以上（128 MB 以上を推奨） （Windows XP では128 MB 以上）
ハードディスク空き容量*6	100 MB 以上（800 MB 以上を推奨）

*5 データ転送速度はパソコンの性能に依存し低下する場合があります。
*6 パソコンの必要環境は、ご使用のアプリケーションにより異なります。（☞ 18ページ）
ソフトメーカーのサポート情報などで、使用可能なことを事前にお確かめください。
*7 Windows XP / Windows 2000 のサーバー OS には対応していません。

エンドユーザーライセンス契約書

本契約書は、お客様と松下電器産業株式会社との間の契約書です。
付属されているソフトウェアプログラム（本ソフトウェアといいます）の袋を開封する前に、この契約の条件を十分にご確認ください。
袋を開封されますと、お客様はこの契約に同意したことになります。
お客様がこの契約に同意できない場合には、未開封のままの袋と共に購入いただいたポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブ 一式をご購入店へ返品ください。
お支払い済の購入代金を返却致します。
ただし、袋を開封されたり、部品を遺失されますと、購入代金は返却致しかねますので、ご了承ください。

１著作権

弊社は、パナソニック コミュニケーションズ株式会社あるいはその許諾者（許諾者と総称します）が著作権を有する本ソフトウェアに関し、お客様へのライセンスに必要な権利の許諾を受けております。
ポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブの購入により、お客様にはこの契約中で許諾される以外は何らの権利も発生せず、それらの権利のすべては許諾者あるいは弊社に帰属します。

２使用条件

（1）お客様は、１台のコンピューター上でのみ本ソフトウェアを使用することができます。
ネットワークで使用するために、ネットワークサーバーに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されません。

（2）お客様は、本ソフトウェアあるいは付属する印刷物を複製したり、第三者にその許諾をすることはできません。
但し、（a）バックアップ用あるいは保管用として必要な本数、本ソフトウェアをコピーすること、及び（b）お客様が本ソフトウェアのオリジナルをバックアップ用あるいは保管用とすることを条件として、１台のコンピューターのハードディスクに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されます。

（3）お客様は、本ソフトウェアを第三者に貸したり、リースすることはできません。
但し、お客様がこの契約書と共に本ソフトウェアのすべてのコピー、付属する印刷物並びにポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブを同時に譲渡し、譲渡を受ける方がこの契約の条件に同意した場合に限り、この契約に基づくお客様の権利を譲渡することはできます。

（4）お客様は、本ソフトウェアをリバース・エンジニア、逆コンパイルあるいは逆アセンブルしてはなりません。

（5）お客様は、この使用条件に規定された場合を除き、本ソフトウェアの全部あるいはその一部を使用、複製、修正、変更あるいは譲渡してはなりません。

（6）本契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明書となりますので大切に保管してください。

3 契約期間

お客様は、いつでも、本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破棄することでこの契約を終結することができます。
また、お客様がこの契約書の条件に違反した場合にも、この契約は終結します。この場合、お客様は本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破棄していただくものとします。

4 保証

（1）弊社（その許諾者を含む）は、お客様あるいは他の第三者に対して、一切の明示あるいは黙示の保証を行いません。
また本ソフトウェアの機能がお客様の要求に合致していることも、本ソフトウェアに欠陥がないことも一切保証致しません。

（2）弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することあるいは使用できなかったことから生じる偶発的あるいは間接的な損害、または受けられるべき救済の損失、得べかりし利益の損失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。

弊社が責任を負う場合は、いかなる場合であってもその金額は、お客様によるポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブのお支払い済みの購入代金を超えないものとします。ただし、弊社の故意または重過失に基づく場合はこの限りではありません。

用語解説

BIOS **（バイオス）**	正式名は Basic Input Output System で、フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブなどのディスクドライブ、キーボードなどパソコンのハードウェアを動かすために必要となる最も基本的なソフトウェアです。通常はパソコン本体に内蔵されています。
CD-EXTRA	音楽 CD のデータの他に、CD-ROM のデータが記録された CD のことです。特に内周側を通常の音楽 CD、それより外周側を CD-ROM として使用しているものの呼称です。 COMPACT disc+ DIGITAL AUDIO や CD EXTRA ™ のマークが入っています。
CD-R	正式名は Compact Disc Recordable で、一度だけ書き込み可能なコンパクトディスクです。一度書き込んだデータの消去や書き換えはできません。書き込みモードによっては、空き領域に追記が可能です。
CD-RW	正式名は Compact Disc ReWritable で、書き込んだデータ全体または最後のセッションが消去でき、再度書き込みや書き換えが可能です。
DVD	正式名は Digital Versatile Disc（デジタル多目的ディスク）で、CD と同じサイズの DVD-ROM は CD-ROM の7倍以上のデータ容量を持っています。
DVD-RAM	DVD 規格のひとつで、繰り返しディスクにデータの読み出し・書き込みができる（リムーバブル）ディスクのことです。
DVD-Video（ビデオ）	DVD 仕様のひとつで、映画など、主に家庭用ビデオソフトを DVD に記録したものです。ビデオの音声の言語や字幕、カメラアングルなどを切り替える機能があります。
DVDビデオ **レコーディング** **規格**	DVD 規格のひとつで、DVD のディスクにビデオデータを記録する方式のことです。 「VR 規格」や「VR フォーマット」とも呼ばれます。

High Speed CD-RW	4 倍速から10 倍速の書き込みに対応した、CD-RW のメディアです。書き込みには、High Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。 COMPACT disc ReWritable High Speed のマークが表示されています。
Photo CD	米国の Eastman Kodak Company により研究開発された技術です。1枚の CD-ROM にたくさんのイメージ画像（写真など）が保存できます。
SmoothLink	松下電器産業株式会社で開発された「バッファアンダーランエラー（転送速度エラー）」を回避することができる技術です。
UDF フォーマット	Universal Disk Format の略で、パケットライティングや各種 DVD ディスク（DVD-RAM、DVD-Video、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW）に採用されているディスクフォーマットです。
Ultra Speed CD-RW	8 倍速から24 倍速の書き込みに対応した、CD-RW のメディアです。書き込みには、Ultra Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。 COMPACT disc ReWritable Ultra Speed のマークが表示されています。
USB	Universal Serial Bus の略で、各種の周辺機器とパソコンを接続するための業界標準規格です。
USB2.0	USB2.0 は、USB-IF（USB Implementers Forum）によって制定された、USB1.0/1.1 上位互換の高速な USB インターフェースです。データ転送は最大で、USB1.1 の約40倍となります。
USB バスパワー	パソコンのUSB ポートから供給される電源を使用して、周辺機器を動作させる方式のことです。
インストール	一般に、デバイスドライバーなどのソフトウェアをパソコンのシステムに登録する作業をいいます。
オンザフライ方式	データをソースファイルから直接読み込んで、ディスク（メディア）に書き込む方式です。大きなイメージファイルを必要とせず、ハードディスクの空き容量が少なくて済みます。

コンバインケーブル	コンバインケーブルとは、パソコンの USB ポート 2 つから電源を周辺機器に供給するケーブルです。
再生可能地域コード **(リージョンコード)**	DVD ビデオは、再生できる地域が決められており 地域ごとに管理されています。 日本の地域コードは「2」です。
ディスク アット ワンス **(Disc at once)**	CD 全体のデータをまとめて作成し、一度に書き込む 方法です。追加書き込みはできません。
トラック アット ワンス **(Track at once)**	ひとつのトラックを、一度に書き込む方法です。 CD-EXTRA の作成などに利用されます。
パケットライティング **(Packet writing)**	パソコン上でファイルとして扱えるデータをパケットと 呼ばれる単位で書き込む方法です。
バッファ **アンダーラン** **または** **バッファ** **アンダーランエラー**	ドライブのバッファーメモリー内のデータが書き込み中 に、瞬間的に空になってしまい、書き込みが中断されて しまう現象で、書き込みエラーとなります。
ホットプラグ	周辺機器をパソコンの電源が入った状態で抜き差しする 操作をいいます。
マルチセッション **(Multisession)**	CD-ROM のフォーマットのひとつです。1枚の CD に 複数のセッションが記録されているものです。
マルチボーダー **(Multiborder)**	DVD-R において、CD-R で採用されている 「マルチセッション」と同等の機能を、「マルチボーダー」 と呼び、DVD-R で追記を可能にする方式です。

さくいん

— アルファベット順 —

さくいん

― 五十音順 ―

あ

か

さ

た

は

ま

この製品は日本国内用です。日本国外での使用に対するサービスは致しかねます。

This product is designed for use in Japan. Panasonic does not take any service of this product using in other countries.

此产品仅供日本国内使用。在日本国外使用时将不提供售后服务。

愛情点検　長年ご使用のポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブの点検を！

こんな症状はありませんか		
	● AC アダプターのケーブルやプラグが異常に熱い ● 煙が出たり、異常な臭いや音がする ● 水や異物が入った ● その他の異常や故障がある	このような症状の時は、故障や事故の防止のため、接続ケーブルを抜いて、コンセントから電源コードを抜き、販売店に点検をご依頼ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	KXL-CB35AN
販売店名	☎（　　）　—		
お近くの当社修理相談窓口	☎（　　）　—		

松下電器産業株式会社

パナソニック コミュニケーションズ株式会社　デバイスカンパニー

〒865-0193　熊本県玉名郡菊水町高野1080

Panasonic　ポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブ　KXL-CB35AN　取扱説明書